

核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)地元検討会

設立趣旨

埼玉県の圏央道以南地域においては、市街地の慢性的な交通渋滞の緩和のため、道路のバイパス整備や右左折車線の設置による交差点改良などの渋滞対策、圏央道や外環道などの基幹ネットワークとなる自動車専用道路の整備が進められてきた。

しかしながら、依然として慢性的な交通渋滞が発生しており、外環道(三郷南～高谷)開通後の交通状況の変化等に対応し、東西軸の道路交通の円滑化が喫緊の課題である。

一方、大型物流施設などの開発や区画整理事業や団地建替事業などの住居系開発が計画されており、今後も周辺道路において交通需要の増大が見込まれている。

こうした状況を踏まえ、圏央道と外環道間の東西方向の連携を強化する観点から、埼玉新都心線～東北道間を優先し、概略計画の検討(計画段階評価を含む)を進めることを目的として、「核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)地元検討会」を設立するものである。